

第31期事業報告書

2002年4月1日から2003年3月31日まで



ローランド株式会社

財務ハイライト

3月31日に終了した事業年度 単位：百万円（1株当たり金額を除く）		2003年3月期	2002年3月期
連結	売上高	63,322	62,032
	経常利益	2,405	2,183
	当期純利益	1,189	300
	1株当たり当期純利益（円）	47.63	11.73
	総資産	67,383	70,055
単独	売上高	28,016	28,005
	経常利益	773	480
	当期純利益	158	471
	1株当たり当期純利益（円）	6.21	18.43
	総資産	46,076	47,629

ローランド企業スローガン 創造の喜びを世界にひろめよう BIGGESTよりBESTになろう 共感を呼ぶ企業にしよう

ローランド独自の企業活動の根底にある精神は、上記3つのスローガンに集約されます。これこそ当社の企業としての意志であり、無限の可能性を秘めた音創りの明日に向かって、果てしなく広がる、大きな夢の源にほかなりません。これからのローランドにどうぞご期待ください。

目次

1 株主のみなさまへ	10 新製品のご紹介
2 営業の概況	14 トピックス
6 連結財務諸表（要旨）	16 会社の概況
8 単独財務諸表（要旨）	17 株式の状況

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第31期（2002年4月1日～2003年3月31日）の事業の概要および決算につき、ご報告申し上げます。

当期の業績につきましては、景気低迷の続く国内に加えて北米を始めとする海外の主要市場でも厳しい状況で推移しました。この結果、遺憾ながら連結・単独決算とも最終損失となりました。

利益配当金につきましては、中間配当金と同額の8円50銭（中間配当金を含め年間配当金は1株につき17円）とさせていただきます。

これまでと同様に厳しい状況が続くと予想されますが、新製品は概ね好評を頂いており、製品力のさらなる強化と業務の効率化によるコスト削減に努めることによる業績の回復を見込んでおりますので、今後とも株主のみなさまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2003年6月



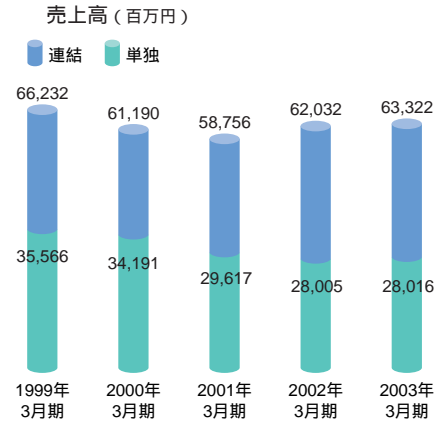
取締役社長
檀 克義

業績全体の概況

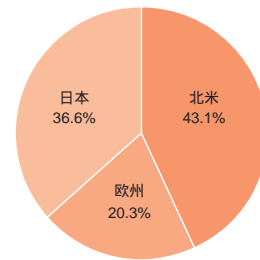
当期の経済環境は、国内景気の低迷に加えて海外では北米の経済成長が減速に転じ、世界的な株安の影響下、景気後退の懸念が高まりました。

このような景況を反映して電子楽器事業の売上は、海外最大の市場である北米において特に年度後半に伸び悩み、欧州では一部を除いて概ね横這いの状況でした。国内でも厳しい状況を余儀なくされました。一方、コンピュータ周辺機器事業も同様に国内外の景気の影響下にありながら、大型カラープリンターを中心として特に輸出が好調に推移し、売上高・営業利益ともに堅調でした。

上記の結果、営業利益および経常利益とも前期と比較して10%強増加しましたが、事業の再構築のための特別損失約14億円を計上したこと、また法人税等約5億60百万円の更正を受けたことにより、当期は11億89百万円の純損失となりました。



所在地別売上高構成比



	第27期 (1999年3月期)	第28期 (2000年3月期)	第29期 (2001年3月期)	第30期 (2002年3月期)	第31期 (2003年3月期)	
連結	売上高 (百万円)	66,232	61,190	58,756	62,032	63,322
	経常利益 (百万円)	9,460	5,224	2,304	2,183	2,405
	当期純利益 (百万円)	4,390	3,381	808	300	1,189
	1株当たり当期純利益 (円)	177.07	132.81	31.61	11.73	47.63
単独	売上高 (百万円)	35,566	34,191	29,617	28,005	28,016
	経常利益 (百万円)	3,760	3,188	977	480	773
	当期純利益 (百万円)	2,348	2,301	1,053	471	158
	1株当たり当期純利益 (円)	94.70	90.39	41.19	18.43	6.21

(注) 会計処理方法の変更により、2001年3月期よりロイヤリティー収入を売上高(単独)に含めて計上しています。なお、2000年3月期についても同様の表示としています。

セグメント別営業の概況

電子楽器事業

日本においてはシンセサイザーの売上が減少しましたが、普及価格帯のデジタル・レコーダーが好調であり、また、入門用機種から高級機種までラインアップを一新して大型液晶表示装置などの新機能を搭載した電子ピアノや電子オルガンの高級機種が音楽教室収入とも相まって売上を伸ばし、全体の売上は増加しました。

北米においては普及価格帯のデジタル・レコーダーとギター用マルチ・エフェクターが堅実な成績を収めたものの、特に年度後半の経済成長減速の影響を受けて売上高は減少しました。

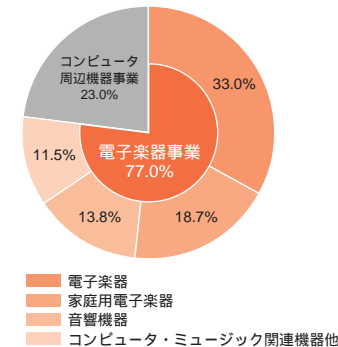
欧州ではドイツ、フランス等の個人消費の停滞の影響を受けましたが、英国等での営業戦略が効を奏し、売上は増加しました。

2001年9月に発売したビデオ編集機器「DV-7シリーズ」は、国内におけるビデオ撮影愛好者への浸透に努めたのに続き、業務に使用する事業者への販路開拓を図りました。

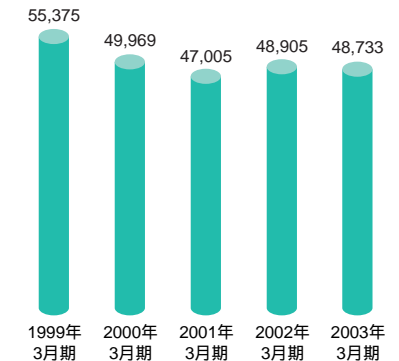
開発・製造面では、2002年4月より導入した執行役員制度の下、意思決定を迅速化し、他社に先駆けた新製品発売を図る一方、中国をはじめとするアジアからの商品・部品の調達による原価低減を推進しました。電子ピアノには東南アジア製の木製部材を使用し、小型ギターアンプは東南アジアで生産し、いずれも価格対性能比を向上して好評を得ました。

販売面では、業務用音響機器に特化した子会社ロラント エス・エス株式会社が2002年4月より営業を開始し、公共施設や放送局等新規販路への提案型営業による販路開拓に努めました。

事業のセグメント別売上高構成比



売上高 (百万円)



セグメント別営業の概況

コンピュータ周辺機器事業

同事業の主力分野である「カラー（業務用大型カラープリンター）」と「3D（三次元入出力装置）」に経営資源を集中し、いずれも着実に売上を伸ばしました。

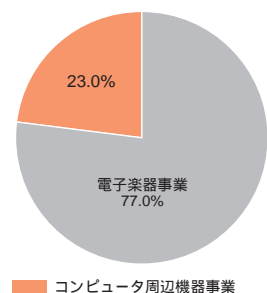
「カラー」の分野では、屋外耐候性の高いプリンターの出現により屋外用途への需要が高まり、また、専門分野への用途拡大の動きが広がりました。このような傾向に対し、新製品を世界同時発売し、お客様の要求に対して機器やインクなどをパッケージした最適なトータルソリューションを提供することで販売を拡大しました。また「3D」の分野では、3Dデータを有効活用した「ものづくり」のデジタル化を図る動きが広がる中、設計データから試作品等を直接出力することで効率的な設計を行うことを提案しました。また、セミ

ナーや内覧会を積極的に開催し3D市場の育成と需要の掘り起こしに努め、売上を伸ばしました。

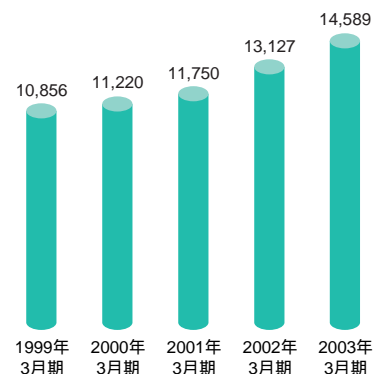
また、地域別の販売状況につきましては、国内で設備投資の低迷から売上は鈍化していますが、海外は好調に推移しました。



事業のセグメント別売上高構成比



売上高（百万円）



ブランドについて

自由な発想とスピリッツから、感動を生む「音」を創造する電子楽器の総合ブランド。



高品位の音質を実現する独自のテクノロジーから、画期的な新製品を次々と打ち出し、世界の音楽シーンをリードする『ローランド』。世界のプロミュージシャンから高い信頼性と評価を得、ステージやスタジオで活躍しているシンセサイザーや電子ドラム、アンプをはじめ、ご家庭でも楽しめるデジタルピアノや電子オルガン、業務用のアンプやスピーカーなど音響機器、そして携帯電話着信音サービスなど様々な商品を通じて「感動」をお届けしています。

エフェクター世界No.1のシェアを誇る、ギター関連機器ブランド。



エフェクター、デジタル・レコーダー、リズム・マシンなどのギター関連機器から、プロの創造力を刺激する「音」をお届けしている『ボス』。世界中の有名ギター・プレイヤーや楽器ファンから信頼のブランドとして厚い支持を受け、コンパクト・エフェクター世界No.1のシェアを誇っています。

自由に創りだす喜びをお届けする、音と映像の編集機器ブランド。



コンピュータ・ミュージック、ビデオ編集機器を中心に展開する『エディロール』。高品位なサウンドの音楽制作や音と映像編集を、多彩な製品ラインナップでサポートしています。

伝統の技と先進技術が融合した、クラシック・オルガンのブランド。

最新のデジタル技術によって、豊かなパイプオルガン・サウンド、ハーモニー、大聖堂さながらの響きを再現した、本格クラシック・オルガンのブランド『ロジャース』。全国のホテルや世界各国の教会、音楽ホールなどで採用されています。



次代のソリューションを提案する、コンピュータ周辺機器ブランド。



デジタル技術の力で「イメージをカタチに」するブランド『ローランド ディー.ジー.』。業務用大型カラープリンターや三次元入出力装置などから、さまざまなソリューション提案を行っています。

連結財務諸表 要旨)

連結貸借対照表 (要旨)

			(単位:百万円)		
科 目	当 期 2003年3月31日現在	前 期 2002年3月31日現在	科 目	当 期 2003年3月31日現在	前 期 2002年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	42,707	44,415	流動負債	11,447	12,108
現金及び預金	18,845	19,146	支払手形及び買掛金	3,325	2,806
受取手形及び売掛金	8,426	8,948	短期借入金	2,880	4,326
たな卸資産	11,927	13,251	その他	5,241	4,975
その他	3,984	3,530	固定負債	1,020	854
貸倒引当金	476	462	負債合計	12,467	12,963
固定資産	24,675	25,640	(少数株主持分)		
有形固定資産	15,944	16,419	少数株主持分	7,066	6,569
建物及び構築物	8,106	8,398	(資本の部)		
工具器具備品	1,682	1,719	資本金	9,274	9,274
土地	5,403	5,410	資本剰余金	10,800	10,800
その他	751	890	利益剰余金	29,719	31,403
無形固定資産	1,012	1,270	土地再評価差額金	1,295	1,265
投資その他の資産	7,718	7,950	その他有価証券評価差額金	8	15
投資有価証券	3,063	3,384	為替換算調整勘定	406	294
その他	4,714	4,578	自己株式	251	0
貸倒引当金	60	12	資本合計	47,848	50,522
資産合計	67,383	70,055	負債、少数株主持分及び資本合計	67,383	70,055

(注) 比較を容易にするために、当期の資本の部の区分に従って前期の資本の部を組み替えて表示しています。

連結損益計算書 (要旨)

			(単位:百万円)		
科 目	当 期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)	前 期 (2001年4月1日から 2002年3月31日まで)			
売上高	63,322	62,032			
売上原価・販売費及び一般管理費	61,222	60,124			
営業利益	2,100	1,908			
営業外収益	630	586			
営業外費用	324	311			
経常利益	2,405	2,183			
特別利益	56	325			
特別損失	1,700	596			
税金等調整前当期純利益	762	1,912			
法人税、住民税及び事業税	1,649	1,427			
過年度法人税等	560				
法人税等調整額	794	106			
少数株主利益	536	291			
当期純利益又は純損失()	1,189	300			

連結決算の範囲

			(当期、前期とも)		
連結子会社	国内	7社			
	海外	14社			
持分法適用関係会社	海外	4社			

連結剰余金計算書 (要旨)

			(単位:百万円)		
科 目	当 期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)	前 期 (2001年4月1日から 2002年3月31日まで)			
(資本剰余金の部)					
資本剰余金期首残高	10,800	10,800			
資本剰余金期末残高	10,800	10,800			
(利益剰余金の部)					
利益剰余金期首残高	31,403	31,736			
利益剰余金増加高		300			
当期純利益		300			
利益剰余金減少高	1,684	632			
当期純損失	1,189				
配当金	472	575			
役員賞与	23	57			
利益剰余金期末残高	29,719	31,403			

(注) 比較を容易にするために、当期の区分に従って前期を組み替えて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

			(単位:百万円)		
科 目	当 期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)	前 期 (2001年4月1日から 2002年3月31日まで)			
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,415	3,541			
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,116	3,782			
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,515	326			
現金及び現金同等物に係る換算差額	84	458			
現金及び現金同等物の増加又は減少()額	300	544			
現金及び現金同等物の期首残高	19,145	18,601			
現金及び現金同等物の期末残高	18,845	19,145			

単独財務諸表 要旨)

貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当 期 2003年3月31日現在	前 期 2002年3月31日現在	科目	当 期 2003年3月31日現在	前 期 2002年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	18,678	19,314	流動負債	5,203	5,883
現金及び預金	9,217	10,285	買掛金	1,602	1,826
受取手形及び売掛金	4,074	4,030	短期借入金	1,500	2,500
たな卸資産	2,399	2,635	その他	2,100	1,556
その他	3,002	2,375	固定負債	205	161
貸倒引当金	14	13	負債合計	5,409	6,044
固定資産	27,397	28,315	(資本の部)		
有形固定資産	9,963	10,400	資本金	9,274	9,274
建物	4,706	5,050	資本剰余金	10,800	10,800
工具器具備品	670	685	利益剰余金	22,129	22,760
土地	4,136	4,136	利益準備金	847	847
その他	450	528	任意積立金	21,336	21,344
無形固定資産	384	395	当期未処分利益又は未処理損失()	54	567
投資等	17,050	17,518	(当期利益又は損失())	(158)	(471)
投資有価証券	1,050	1,164	土地再評価差額金	1,295	1,265
子会社株式	10,633	11,280	株式等評価差額金	9	16
子会社出資金	1,346	1,346	自己株式	251	0
その他	4,435	3,811	資本合計	40,667	41,585
投資評価引当金		79	負債及び資本合計	46,076	47,629
貸倒引当金	416	5			
資産合計	46,076	47,629			

(注) 比較を容易にするために、当期の資本の部の区分に従って前期の資本の部を組み替えて表示しています。

損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当 期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)	前 期 (2001年4月1日から 2002年3月31日まで)
営業収益	28,016	28,005
営業費用	28,021	28,628
営業利益又は損失()	5	622
営業外収益	801	1,115
営業外費用	23	11
経常利益	773	480
特別利益	1,971	503
特別損失	3,026	672
税引前当期利益又は損失()	281	311
法人税、住民税及び事業税	127	47
過年度法人税等	560	
法人税等調整額	810	206
当期利益又は損失()	158	471
前期繰越利益	320	351
中間配当額	216	255
当期未処分利益又は未処理損失()	54	567

利益処分

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
当期未処分利益又は未処理損失()	54	567
任意積立金取崩額		
別途積立金取崩額	300	
特別償却準備金取崩額	8	8
計	253	575
これを次のとおり処分しました。		
利益配当金	215	255
	(1株につき8円50銭)	(1株につき10円)
特別償却準備金	0	-
固定資産圧縮積立金	1	-
次期繰越利益	36	320

(注) 1. 2002年12月10日に、216百万円(1株につき8円50銭)の中間配当を実施しました。
2. 特別償却準備金、固定資産圧縮積立金(各繰延税金負債控除後)は、改正地方税法の公布により変更後の税率によって調整を行ったものです。

SYNTHESIZER

斬新な音づくりが展開できる新次元のシンセサイザー

V-Synth (Vシンセ)



「音色を無限に創造する」というシンセサイザー本来の機能を追求して新開発したV-Synthは、Variphase (バリフレーズ) や COSM (コズム) といったローランド最先端のシンセサイザー技術と、プレイヤーのテクニクとアイデアを生かせるダイナミックなユーザー・インターフェースで、オリジナリティあふれるサウンド・メイクが繰り広げられる、まさに音づくりのためのシンセサイザーです。

V-Synthに搭載されているVariphaseは、ピッチ (音程)、タイム (テンポ)、フォルマント (音色) という、音を構成する3つの要素を独立して、リアルタイムにコントロールできる当社独自の技術です。デジタル録音したフレーズを使った演奏において、例えばボーカルのピッチの変更による再生の速さ (タイム) や声の質

(フォルマント) の変化、ピッチやテンポの変更による音質の悪化などの永年の課題がVariphaseによりすべて解決。フレーズをそのまま再生するだけでなく、変化を加えることも可能です。さらに、同じく当社独自技術のCOSMにより、既存の楽器の再現から、これまでのシンセサイザーではできなかった音づくりまで可能になりました。また、演奏中もパッド面を指でなぞって再生音のコントロールが機能的に行えるタイム・トリップ・パッドや、手をかざすことでさまざまな効果をコントロールするDビーム・コントローラー、タッチ・アクション式の大画面グラフィックLCDも装備。音づくりとステージでのパフォーマンスが最大限に発揮できる操作性も魅力のV-Synthは、斬新な音づくりが展開できる新しいコンセプトのシンセサイザーです。

サンプリングを中心とした新しい音楽制作環境を提供するシンセサイザー

Fantom-S (ファントムS) シリーズ

多彩なサンプリング機能と充実した内蔵音色により新しい音楽制作を実現するFantom-Sシリーズ。「Fantom-S」は61鍵シンセタッチ鍵盤を、「Fantom-S88」は88鍵本格ピアノタッチ鍵盤を採用。音楽制作に特化した機能とスムーズな操作性で、思いのままに音楽づくりが進められるシンセサイザーです。新規作成した大容量ウェーブ音色ROMと追加音色ボードSRXスロットの拡張性を備えた音源部、そして拡張可能な強力サンプリング機能を搭載。また、いま演奏し終わったサウンドを溯って収録できるスキップ・バック・サンプリング機能、完成したフレーズや曲データをひとつにまとめて演奏に使えるリサンプリング機能、サンプリング素材をすぐに活用できるリアルタイム・タイムストレッチなど強力なサンプリング機能を装備。さらに、大型グラフィック画面



を使いスピーディなデータ入力 / 編集が可能な16トラック・シーケンサーや、表現力に富んだフレーズ作成をサポートするDビーム・コントローラーなどの多彩なコントローラーを装備しています。Fantom-Sシリーズは、サンプリングを中心とした今どきの音楽制作に欠かせない機能を一台に統合した新次元の音楽制作スタジオです。

HARDDISK RECORDER

高操作性、高音質の基本性能に、優れた拡張性も加えたデジタル・レコーダー

デジタル・スタジオ・ワークステーション VS-2400CD

当社は、1996年発売のVS-880以来、ハードディスク・レコーディング市場のリーディング・カンパニーとして、新たな音楽制作スタイルを築き上げてまいりました。VS-2400CDは、ミキシングからレコーディング、パウンシング、エフェクトおよびマスタリング処理、トラック・ダウン、さらにオリジナルCDの制作まで、音楽制作プロセスを一体化したVSシリーズの最新モデルです。VSシリーズの頂点に立つ完全プロ仕様のVS-2480CD (2001年3月発売) で好評の外部ディスプレイとマウスを使った抜群の操作性と、最高96kHz / 24ビットのハイクオリティ・サウンド / 24トラック構成で本格的な音楽制作環境を実現したデジタル・レコーダーです。



VariOS

高度なオーディオ・フレーズ編集を可能にするハードウェア・プロセッサとコントロールソフトウェアのパッケージ

VariOS (パリオス)



当社独自のVariPhase (バリフレーズ) 技術を音楽制作のために使いやすくパッケージしたのがVariOSです。1Uラック・サイズのハードウェア・プロセッサ “VariOS” と、USBを経由してパソコンからVariOSをコントロールする “V-Producer for VariOS” ソフトウェアから構成され、オーディオ・フレーズを自由に編集。録音したボーカルのテンポや演奏時間を変えても、音階や音色の変化も音質の劣化もありません。女声ボーカルを男声ハーモニーにしたり、ドラム演奏などの音色を編集して、思いのままに新たなフィーリングの演奏が可能。簡単なオペレーションで自在なりリアルタイム・オーディオ加工が行えるVariOSは、幅広いクリエイター層に新たな音楽制作スタイルを提供します。

GROOVE GEAR

総合的な音楽制作環境と優れたパフォーマンス能力を兼ね備えたグループボックス

サンプリング・グループボックス MC-909

シンセサイザー、サンプラー、シーケンサー、そしてエフェクターを1つのハードウェアに集約した総合的な音楽制作環境に、レコーディング・スタジオで最終仕上げに使用するマスタリング・エフェクトも搭載したグループボックスです。さらに、簡単にケーブル1本でコンピュータと接続可能なUSBポート、演奏と映像を同時にコントロールできる「V-LINK (Vリンク)」、赤外線ビームに手をかざしてパラメータ等を操作できる2基の「ツイン・Dビーム・コントローラー」を搭載。世界中のクリエイターへ向け、歴代グループボックスの集大成とも言えるべき先進の音楽制作環境の提示と今までにない優れたパフォーマンス能力によりさらなるダンスミュージック市場の拡大を図ります。



ORGAN

重厚なオルガン・サウンドを豪華な木製キャビネットで包んだ本格的な2段鍵盤モデル

コンボ・オルガン VK-88

アンプ部に当社独自のCOSM (コズム) テクノロジーによるアンプ・シミュレーターを搭載。本格的なロータリースピーカーのサウンドを含め、オルガンの再生では定番とされる4種類のアンプのタイプを専用ボタンで即座に選び、好みのサウンドに素早く調整ができます。加えて、真空管アンプの歪みや、箱鳴り感を再現するキャビネット・シミュレーターなどオルガン部からアンプ部に至るまで、先進のデジタル技術を投入。鍵盤もオルガンの奏法に最適な形状のウォーターフォール鍵盤を採用。サウンド、演奏性、弾き心地まで徹底的にこだわり、往年のオルガン・サウンドを一台で完全に再現する本格的な2段鍵盤コンボ・オルガンです。



ROLAND PIANO DIGITAL

高級感あふれるグランドピアノ・タイプのデジタルピアノ ローランドピアノ・デジタル KR-17M、KR-15

KR-17MとKR-15は、黒塗り鏡面艶出し塗装仕上げの高級感あふれるグランド・タイプのデジタルピアノです。フルコンサート・グランドピアノの一音一音の特性を徹底追求して生まれた「ステレオ・サンプリング・ピアノ音源」、豊かな響きをつくる新開発のサウンド・ボード音響システム「アクティブ・アコースティックス」、鍵盤をそっと弾いたときに感じるグランドピアノ特有のクリック感を再現する「エスケープメント機構」も備えた「プログレッシブ・ハンマー・アクション鍵盤」を搭載。ローランドピアノ・デジタルのハイ・クラス・モデルとして、最高級の音質と鍵盤タッチを追求しています。KR-17MとKR-15は、音、機能、デザイン、そのすべてに贅を極めたローランドピアノ・デジタルの頂点に立つグランド・タイプのデジタルピアノです。



スピーカー搭載のスタイリッシュ&コンパクトなデジタルピアノ デジタルピアノ FP-5

FP-5は、洗練されたシャンパン・ゴールド・カラーのコンパクトなボディにピアノとしての高い基本性能を凝縮し、さらに演奏の楽しみが広がる機能を充実させたデジタルピアノです。フルコンサート・グランドピアノの豊かな響きを再現する「ステレオ・サンプリング・ピアノ音源」を採用した美しいピアノ・サウンドと、低音域から高音域まで自然なタッチの変化を再現した「88鍵プログレッシブ・ハンマー・アクション鍵盤」のグランドピアノさながらの心地よい鍵盤タッチ、そして表現豊かなピアノ・サウンドをより美しく響かせる高性能ツイン・マグネット・スピーカーを搭載。気軽に本格的なピアノ演奏をお楽しみいただけます。



EFFECTOR

シンプル操作に徹した ギター用マルチ・エフェクター

ギター・マルチプル・エフェクツ ME-50

フロント・パネルに各エフェクトの専用つまみを配置して、直感的に音づくりができるギター用のマルチ・エフェクターです。コンパクト・エフェクター感覚のユーザー・インターフェースと、当社独自のCOSM（コズム）テクノロジーによる22種類の歪みエフェクトをはじめとする多彩なエフェクトを搭載。マルチ・エフェクターには馴染みの薄かったギタリストにも最適なマルチ・エフェクターです。



DTMP

ハードウェアとソフトウェアを組み合わせた魅力あふれる PC用音楽制作ソリューション

SONAR Perfect Solution (ソナー・パーフェクト・ソリューション)

新世代の音楽制作スタイルを築き上げたソナーに、高機能・高品位な音源、インターフェースを組み合わせた魅力あふれるPC用音楽制作ソリューションです。高品位なサウンドのMIDI音源モジュール、USBオーディオ・インターフェース機能とデジタル・オーディオ・エフェクトを備えたSDシリーズの最高峰モデルSD-90をパッケージしたSD-90モデルをはじめ、UA-700モデル、UA-5モデル、HQソフトウェア・シンセサイザー・モデルをラインナップ。ご家庭のパソコンでより高品位の音楽制作を楽しんでいただけます。



MONITOR AMPLIFIER

アコースティック・ギターのナチュラルな響きを 忠実に再生する小型モニター・アンプ

アコースティック・コーラス AC-60

AC-60は、アコースティック・ギター専用開発された小型・高性能のステレオ・モニター・アンプです。アコースティック・ギターの豊かな響きを忠実に再現し、ナチュラルで快い音色を再生します。また、2チャンネル構成でマイク入力も可能ですので、コンパクトなモニター・システムとしても使用できます。アコースティック・ギター・プレイヤーをサポートする機能を満載した、小型モニター・アンプです。



フル・デジタルの高画質ビデオ・ミキサー

4チャンネル・ビデオ・ミキサー V-4

フル・デジタルの内部処理により高画質を実現。4系統の入力と2系統の出力、レビュー出力を装備し、多彩なデジタル・エフェクトを搭載しています。さらに、V-LINK（Vリンク）により音楽に同調した映像演出を実現。映像と音楽を組み合わせたパフォーマンスや各種イベントなど、多くの映像ソースを扱うシーンで活躍するハイ・コスト・パフォーマンスの4チャンネル・ビデオ・ミキサーです。



（注）記載されている社名、製品名などの固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

世界の数々の栄えある優秀製品賞を受賞

ローランドグループの製品が世界の数々の栄えある賞を受賞いたしました。エレクトリック・ギター用デジタル・レコーダー「デジタル・スタジオ BR-532」が、米国の大手楽器店Musician's FriendのHigh Techカテゴリー部門においてThe 2001 Best New Productを受賞。「グループ・サンプリング・ワークステーション SP-505」と「Vアレンジャー・キーボード VA-76」が、販売店や卸商、メーカーの投票により年に1回授与される英国のMusic Industries Association (MIA) AwardでそれぞれDance/DJ Product部門賞、Professional Portable Keyboard部門賞を受賞いたしました。また、世界各国55の音楽/楽器専門誌の投票によって2002-2003年のベスト・プロダクトが選ばれるMusikmesse International Press Award (m.i.p.a.) 2003で、

「サンプリング・グループボックス MC-909」と「サンプリング・パッド SPD-S」がそれぞれ、グループ・ボックス部門、エレクトリック・ドラム部門の最優秀賞ベスト・プロダクトを受賞。さらに、「ローランド・ドラム・システム TD-10システム」、「デジタル・レコーディング・スタジオ BR-1180CD」、「デジタル・スタジオ・ワークステーション VS-1880」、「ギター・エフェクツ・プロセッサ GT-6」が英国の有名誌の読者が各部門毎に選んだ、2002年のベスト製品に授与されるMUSIC MAGAZINE READER AWARDS 2002を5部門で受賞いたしました。ローランドグループは今後もお客様に喜んでいただける製品の開発・製造・販売に努めてまいります。



Musician's Friend, The 2001 Best New Product 受賞 BR-532



Music Industries Association(MIA)Award受賞 SP-505



Music Industries Association(MIA)Award受賞 VA-76



Musikmesse International Press Award(m.i.p.a.)2003受賞 MC-909



Musikmesse International Press Award(m.i.p.a.)2003受賞 SPD-S



MUSIC MAGAZINE READER AWARDS 2002受賞 TD-10システム



MUSIC MAGAZINE READER AWARDS 2002受賞 BR-1180CD



MUSIC MAGAZINE READER AWARDS 2002受賞 VS-1880



MUSIC MAGAZINE READER AWARDS 2002受賞 GT-6

ローランド/ボス/エディロール サウンド・スパーク2003開催

ローランドは、2003年1月米国、3月ドイツで開催された国際的な楽器ショウで約40機種の新製品を発表いたしました。日本では、1月下旬に東京と大阪で展示商談会と一般ユーザー向けイベント「サウンド・スパーク2003」を開催。発表しただけのローランド/ボス/エディロールの新製品の試演や、有名ミュージシャンによるスペシャル・ライブやミニ・セミナー、デモンストレーションなど、迫力あるサウンドと、白熱の演奏をお楽しみいただきました。今後もお客様に喜んでいただけるイベントなどを開催し、販売の拡大に努めてまいります。



ローランド上海営業開始

ローランドの中国向け輸出会社である新大阪技研株式会社が、中国上海に電子楽器の販売会社「ローランド上海（英語名：Roland Shanghai Electronics Co., Ltd.）」を設立し、2002年4月1日よりローランドの中国（台湾を除く）における輸出代理店として営業を開始いたしました。今後もさらに、中国市場におけるローランドの電子楽器等の販売網強化と拡大を目指してまいります。



ローランド エス・エス株式会社設立



業務用市場におけるローランドグループ製品の販売活動を行うローランドエス・エス株式会社を2002年4月1日に設立いたしました。学校・博物館・交通機関等の公共施設や、ショッピングセンター・アミューズメント等の民間施設など、さまざまな場所でお客様の要望に最適なシステムを提案いたします。今後も業務用市場へのさらなる販売の拡大に努めてまいります。

RMSオルガン・ミュージックフェスティバル、 RMSファンタスティック・ピアノコンクール開催

全国に展開しているローランドの音楽教室ローランドミュージックスタジオ（略称：RMS）では、全国の生徒・講習生・講師の皆様が目指す頂点ともいえるべきオルガンの祭典「RMSオルガン・ミュージックフェスティバル」と、一般からも参加いただける「RMSファンタスティック・ピアノコンクール」を開催。オルガン、ピアノ愛好家の方々に演奏する喜びを存分に味わっていただきました。



（注）記載されている社名、製品名などの固有名称は、各社の登録商標または商標です。

会社の概況

会社の概要 (2003年3月31日現在)

商号	ローランド株式会社 (Roland Corporation)
設立	1972年4月18日
資本金	9,274百万円
主な事業内容	電子楽器、電子機器およびそのソフトウェアの製造販売並びに輸出入
従業員数	729名

役員状況 (2003年6月20日現在)

取締役社長 (代表取締役)	檀 克 義
専務取締役 (代表取締役)	新 田 寛
専務取締役	菊 本 忠 男
常務取締役	西 澤 一 朗
取締役	三 木 純 一
取締役	近 藤 公 孝
取締役	田 中 英 一
常勤監査役	古 河 拓
常勤監査役	庄 司 東 生
監査役	川 島 実
特別顧問	梯 郁 太 郎 (創業者)
会計監査人	監査法人トーマツ

(注) 監査役 川島 実氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役です。

事業所

本社	大阪市北区堂島浜1-4-16
工場	細江工場、都田工場、伊左地工場、松本工場
研究所	浜松研究所
試験センター	都田試験センター
流通センター	浜松流通センター
営業所	札幌営業所、仙台営業所、東京営業所、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、福岡営業所
音楽教室	北海道センター、首都圏センター渋谷、東海センター佐鳴台、東海センター、関西センター京都、関西センター梅田、広島センター、福岡センター
海外事業所	ロッテルダム事務所

グループ各社 (国内)

製造	ボス株式会社
製造	ローランド イーディー株式会社
製造販売	ローランド テック株式会社
販売	ローランド アイ・ピー株式会社
販売	エディロール株式会社
販売	ローランド エス・エス株式会社
販売	ビデオ・ラボ・ネットワーク株式会社
製造販売	ローランド ディー・ジー・株式会社

グループ各社 (海外)

販売	Roland Corporation U.S. Edirol Corporation North America Roland Canada Music Ltd. Roland Brasil Ltda. Roland Corporation Australia Pty. Ltd. Roland (U.K.) Ltd. Edirol Europe Ltd. Roland Elektronische Musikinstrumente HmbH. Roland France SA Roland Austria GmbH Electronic Musical Instruments Roland Scandinavia A/S Roland Benelux N.V. Roland (Switzerland) AG Roland Italy S.p.A. Roland Electronics de Espana, S.A. Tecnologias Música e Audio, Roland Portugal S.A. Roland East Europe Ltd. Roland Taiwan Enterprise Co., Ltd.
製造	Rodgers Instruments LLC Roland Audio Development Corp. Roland Taiwan Electronic Music Corp. Roland Electronics Suzhou Co., Ltd. Roland Europe S.p.A.
物流	Roland (Shanghai) Logistics Co., Ltd.

株式の状況

株式の状況 (2003年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	50,000,000株
発行済株式総数	25,572,404株
自己株式数	218,785株
株主数	5,402名

大株主 (2003年3月31日現在)

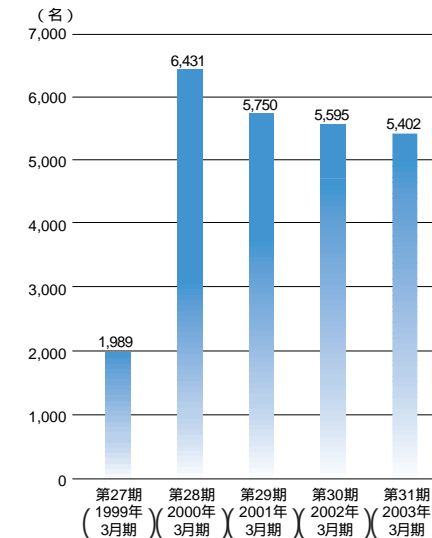
株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
梯 郁太郎	3,084	12.2
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウント アメリカン クライアント (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	2,577	10.2
パイオニア興産株式会社	1,800	7.1
財団法人ローランド芸術文化振興財団	1,585	6.3
株式会社りそな銀行	802	3.2
ローランド社員持株会	756	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	676	2.7
パイオニア株式会社	519	2.1
三菱信託銀行株式会社 (信託口)	473	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	299	1.2

単元未満株式買増制度のご案内

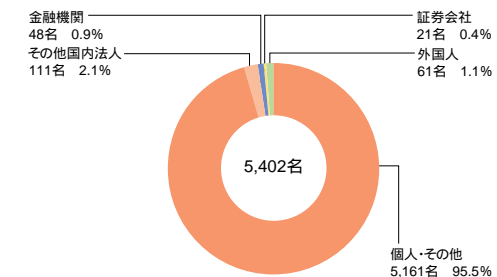
第31期定時株主総会において株主のみなさまにご承認いただきました定款の一部変更により、当社は単元未満株式の買増制度を導入いたしました。この制度は、株主様が1単元 (100株) に満たない株式を所有されている場合、1単元に不足する株式を売り渡すよう発行会社に請求し、1単元に買増することができる制度です。例えば、当社株式150株を所有されている場合、当社に50株の買増しをご請求いただき、所有株式を200株にすることができます。具体的なご請求手続きや代金の支払方法などにつきましては、当社名義書換代理人 (株式会社だいこう証券ビジネス) にお問い合わせください。

なお、単元未満株式の買取請求につきましても、引き続きお手続きいただけますので、買取りをご希望される場合は、当社名義書換代理人までお問い合わせください。

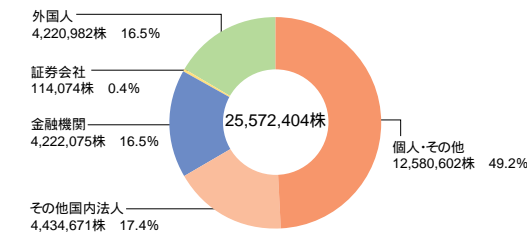
株主数の推移



所有者別株主分布状況 (2003年3月31日現在)



所有者別株式分布状況 (2003年3月31日現在)



株主メモ

決 算 期	3月31日
定時株主総会	6月
1単元の株式数	100株
基 準 日	定時株主総会 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所市場第一部
名義書換代理人	大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
(各種お問い合わせ)	電話 0120-255-100 株式関係のお手続用紙のご請求は次の電話番号および インターネットで24時間承っております。 電話 0120-351-465 http://www.daiko-sb.co.jp
同 取 次 所	株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

配当金口座振込のおすすめ

配当金のお受取りは、口座振込が便利です。口座振込の場合は、支払開始日に自動的にご指定口座へ入金させていただきますので、受取り忘れといったこともなくなり安心です。口座振込による配当金のお受取りをご希望の場合は、当社名義書換代理人（株式会社だいこう証券ビジネス）に「配当金振込指定書」をご請求ください。

(注) 当期より、日本経済新聞に掲載する決算公告に代えて貸借対照表および損益計算書の開示は当社ホームページ（<http://www.roland.co.jp/ir/index.html>）によることとさせていただきます。



<http://www.roland.co.jp/>